

令和8（2026）年度博士前期課程（一般選抜・冬期試験）問題 目次

専門試験		ページ	
人文学専攻	哲学コース	哲学哲学史	1 - 2
		科学技術社会論	3 - 4
		臨床哲学	5 - 5
		中国哲学	6 - 7
		インド学・仏教学	8 - 8
	グローバルヒストリー・ 地理学コース	東洋史学	9 - 11
		西洋史学	12 - 13
		人文地理学	14 - 15
	文学コース	中国文学	16 - 17
		英米文学	18 - 20
		ドイツ文学	21 - 23
		フランス文学	24 - 25
		テキスト環境論	26 - 29
	比較・対照言語学コース	比較・対照言語学	
日本学専攻	基盤日本学コース	現代日本学	
		日本史学	30 - 38
		考古学	39 - 41
		日本文学・日本語史学	42 - 48
		基盤日本語学	
芸術学専攻	アート・メディア論コース	アート・メディア論	49 - 50
	美学・文芸学コース	美学	51 - 52
		文芸学	
	音楽学・演劇学コース	音楽学	53 - 55
		演劇学	56 - 58
	日本東洋美術史・西洋美術史コース	日本東洋美術史	
		西洋美術史	59 - 62

令和8(2026)年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程/一般選抜・冬期試験) 入学者選抜試験問題
人文学専攻 (哲学哲学史受験分野) 筆記試験
[問題用紙は2枚です。]
(1枚目/2枚中)

注意 ①解答はすべて所定の解答用紙に記入すること
②問題用紙は持ち帰ること

I 次の英語文全体を日本語に訳しなさい。

The future does not exist in expectation as the past does in memory; for if our theory says something about the past this is held to be verified if we remember it. But if it says something about the future this is not verified because we expect it, but must await verification. Again if the theory says so that makes us expect, but it cannot make us remember.

(Frank P. Ramsey, ((Can We Put the Problem of Philosophy Thus?)), In Maria C. Galavotti (ed.) *Notes on Philosophy, Probability and Mathematics*, Bibliopolis, 1991, p. 34, l. 8 – l. 13)

II 次の独語文全体を日本語に訳しなさい。

1. Der philosophische Forscher ist kein Spezialforscher, vielmehr sucht er die Resultate der Spezialforschung in Harmonie zu bringen. Dieser Gegensatz zum Spezialforscher scheint Mach zugleich sein Gegensatz zum Naturforscher zu sein; denn, wie im Laufe des Kapitels gelehrt wird, ist Psychisches und Physisches identisch, Metaphysisches aber durchwegs Illusion, kein wahres wissenschaftliches Problem. Somit ist alle Spezialforschung Naturforschung und alle Erforschung der Natur, soweit sie nicht in dem eben bestimmten Sinn philosophisch ist, selbstverständlich Spezialforschung.

(Franz Brentano, *Über Ernst Machs "Erkenntnis und Irrtum"*, Editions Rodopi B. V., 1988, S. 17, Z. 8-17)

(2枚目/2枚中)

Ⅲ 以下の術語の中から、2項目を選択し、その番号を記した上で3行程度で説明しなさい。

1. このもの性
2. ヒュームの法則
3. 客観的精神
4. インデックス (パース)
5. 限界状況

Ⅳ 「事実」について論じなさい。

令和8（2026）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻（科学技術社会論受験分野）筆記試験
[問題用紙は2枚です。]
（1枚目/2枚中）

注意 ①解答はすべて所定の解答用紙に記入すること ②問題用紙は持ち帰ること
--

I 次の英文を読み、日本語で5行程度で要約しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

(Massimano Bucchi and Brian Trench, *Science Communication: The Basics*, Routledge, 2025, p. 127, l. 27-p. 128, l. 4.)

(2 枚目 / 2 枚中)

II 以下の語句の中から、3項目を選択し、その番号を記した上で、各項目について日本語で5行程度で解説しなさい。

- 1 通常科学 (normal sciences)
- 2 パターナリズム
- 3 アポロ計画
- 4 熟議民主主義
- 5 フィルターバブル

III 科学技術の進展と「人間の尊厳」の関係について、論点を整理した上で、自らの考えを日本語で論述しなさい。その上で、その要約を5行程度の英語で書きなさい。

令和8（2026）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻（臨床哲学受験分野） 筆記試験
[問題用紙は1枚です]

問題1 以下のうち、A, Bのいずれか一つを選んで日本語で答えなさい。

- A. これまで学んできた哲学・倫理学について、あなた自身はどのようなやりにくさや限界があるか、またそれを解消するために臨床哲学としてどのような姿勢が求められるか、述べなさい。
- B. 学部で学んできた自分の専門分野の知識やアプローチについて、あなたの関心を探究するうえでどのような困難や限界があるか、またそれを解消するために臨床哲学としてどのような姿勢が求められるか、述べなさい。

問題2 ① 下記の英文を日本語に訳した上で、
② 文中に出てくる次の三つの用語を、自らの言葉で簡潔に日本語で説明しなさい。

- deontology
- utilitarianism
- communitarianism

問題文は、著者の著作権等により、省略します。なお出典は以下の通りです。
Audrey Leathard and Susan McLaren (eds.), *ETHICS: Contemporary challenges in health and social care*, The Policy Press, 2007, p.20. 1.20-30, p.22. 1.2-12, p.22. 1.31-p.23. 1.2.

令和八（二〇二六）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・冬期試験） 入学者選抜試験問題

人文学専攻（中国哲学受験分野） 筆記試験

〔問題用紙は二枚です。〕

（一枚目／二枚中）

Ⅰ 次の文章を読んで、後の問いについて答えなさい。

於是泰清問乎無窮曰、「子知道乎」。

無窮曰、「吾不知」。

又問乎無爲。無爲曰、「吾知道」。

曰、「子之知道、亦有數乎」。

曰、「有」。

曰、「其數若何」。

無爲曰、「吾知道之可以貴、可以賤、可以約、可以散。此吾所以知道之數也」。

泰清以之言也、問乎無始曰、「若是、則無窮之弗知、與無爲之知、孰是而孰非乎」。

無始曰、「不知深矣。知之淺矣。弗知內矣。知之外矣」。

於是泰清仰而歎曰、「弗知乃知乎。知乃不知乎。孰知不知之知」。

無始曰、「道不可聞、聞而非也。道不可見、見而非也。道不可言、言而非也。知形形之不形乎、道不當名」。

無始曰、「有問道而應之者、不知道也。雖問道者、亦未聞道。道無問、問無應。無問問之、是問窮也。無應應之、是無內也。以無內待問窮。若是者、外不觀乎宇宙、內不知乎大初。是以不過乎崑崙、不遊乎太虛」。〔『莊子』知北遊〕

問一 傍線部「無爲曰く不遊乎太虚」について、日本語に訳しなさい。

問二 本文全体から窺われる思想的特徴について、本文の内容を踏まえつつ具体的に論じなさい。

(二枚目／二枚中)

II 次の各語について解説しなさい。

- ① 成玄英
- ② 春秋三伝
- ③ 郭象
- ④ 性三品説
- ⑤ 緯書
- ⑥ 顔師古
- ⑦ 程頤
- ⑧ 十三經注疏
- ⑨ 論語集解
- ⑩ 受命改制

令和8（2026）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題

人文学専攻（インド学・仏教学受験分野）筆記試験

〔問題用紙は1枚です。〕（1枚目／1枚中）

語学辞書使用可

1 サンスクリット語のような文献言語やそれが伝える文化の研究には、現代語や現代文化のそれに比べてどのような困難や課題が存在するか、その解決方法も含めて具体的に論ぜよ。

2 次の項目をできるだけ詳しく解説せよ。

- 1) Indra
- 2) 語根複合語
- 3) 四聖諦
- 4) Maitreya

3 次の文を正確に和訳せよ。

（出典：『ナラ王物語』）

kva nu te kṣatriyāḥ śūrā na hi paśyāmi tām aham |
āgacchato mahīpālān dayitān atithīn mama ||
evam uktas tu śakreṇa nāradaḥ pratyabhāṣata |
śṛṇu me maghavan yena na dṛśyante mahīkṣitāḥ ||

4 次の (a), (b) のどちらかを正確に和訳せよ。

(a)（出典：『ジャイミニヤー・ブラーフマナ』）

bhṛgur ha vāruṇir anūcāna āsa. sa hāty eva pitaraṃ mene 'ti devān aty anyān brāhmaṇān
anūcānān. sa ha varuṇa īkṣāṃ cakre: na vai me putraḥ kiṃ cana prajānāti. hantainam
prajñāpayānīti. tasya ha prāṇān abhijagrāha. sa ha tatāma. sa ha tāntaḥ paraṃ lokaṃ jagāma.
sa hāmuṣmin loka ājagāma.

(b)（出典：『スッタ・ニパータ』）

tassa ce kāmāyānassa chandajātassa jantuno
te kāmā parihāyanti, sallavidhho va ruppanti.
yo kāme parivajjeti sappasseva padā siro,
so imaṃ visattikaṃ loka sato samativattati.

令和 8 (2026) 年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程/一般選抜・冬期試験) 入学者選抜試験問題
人文学専攻 (東洋史学受験分野) 筆記試験
[問題用紙は 3 枚です]
(1 枚目/3 枚中)

[問題用紙は 3 枚です。I～IV について、それぞれ別々の解答用紙を使用すること]

I 論述問題

次の 3 問から 1 問を選び、解答しなさい。解答に当たっては、いずれを選んだかを冒頭に記入すること。

1. 10～18 世紀にかけ、中国歴代王朝の海上交易に対する管理はどのような推移をたどったか、その概略を説明しなさい。
2. 東南アジア史の展開において、域外からの移住者が果たした役割を、複数の民族集団の事例を挙げつつ述べなさい。
3. 前近代の中央ユーラシア遊牧民の社会における女性の役割について、複数の具体的事例を挙げつつ論じなさい。

II 基礎事項問題

次の (a) ～ (e) の事項について知るところを、それぞれ 2 行程度で簡潔に答えなさい。

[問題 I とは別の解答用紙を用いること]

- (a) ホセ＝リサル (José Rizal) (b) インド大反乱 (1857～59) (c) 典札問題
(d) 『資治通鑑』 (e) 池田温

(2 枚目/3 枚中)

Ⅲ 英語問題

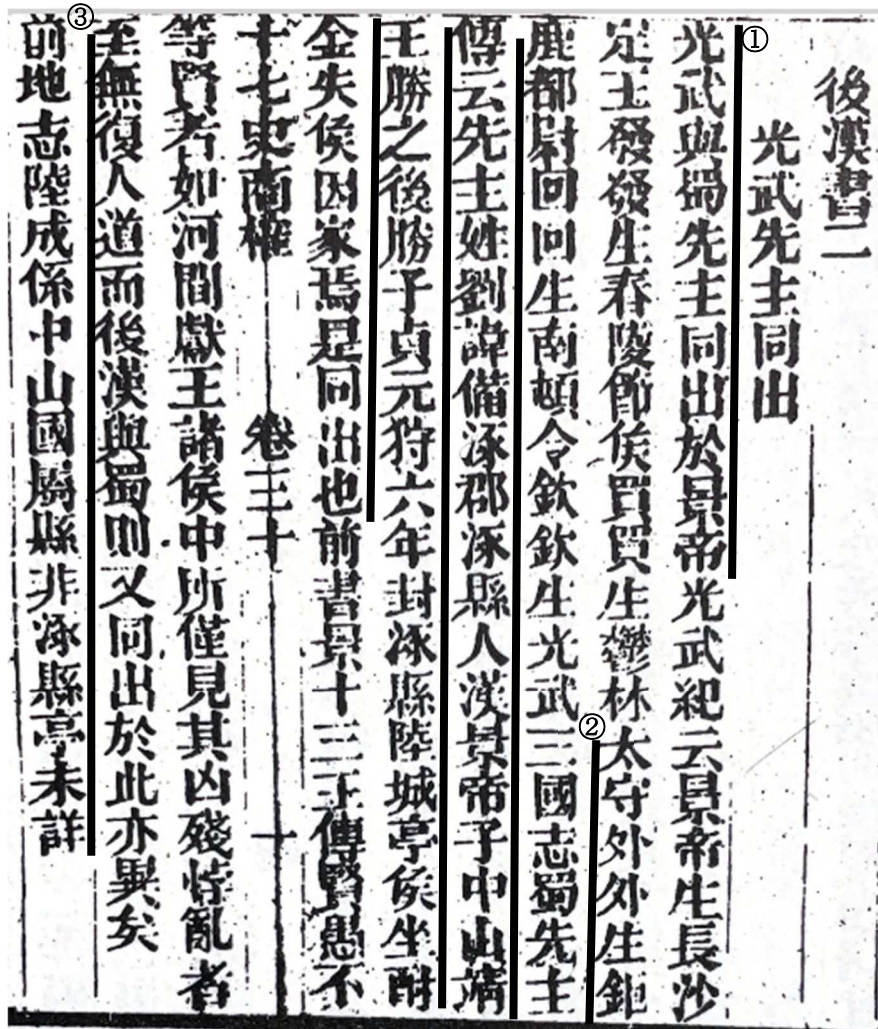
次の英語の文章を、語注も参照しつつ、すべて現代日本語に訳しなさい。ただし、注番号は無視すること。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

【Andrade, T. *The Gunpowder Age* (Princeton and Oxford: Princeton University Press, 2016), p. 97, ll. 3-24】

IV 漢文問題

次の漢文は、清代の王鳴盛が著した『十七史商榷』卷 30・後漢書二・光武先主同出である。これを読んで、語注も参照しつつ、下の問いに答えなさい。



語注) 長沙定王・中山靖王・河間獻王・春陵節侯・陸城(陸成)亭侯・鬱林太守・鉅鹿都尉・南頓令——前漢景帝(188-141BCE)の子孫に与えられた王位・爵位・官位
耐金失侯——前漢武帝期の肅清事件。100を超える列侯が爵位・封地を奪われた。

- 問 1 傍線部①をすべてひらがなで書き下しなさい。
- 問 2 傍線部②を現代日本語訳しなさい。
- 問 3 傍線部③を現代日本語訳しなさい。

令和8（2026）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題

人文学専攻（西洋史学受験分野）筆記試験

[問題用紙は2枚です。]

(1枚目/2枚中)

注意：解答は、別紙解答用紙に問題番号を書いてから記入しなさい。また、各問題の枝間の記号や番号も記すこと。

設問1. 次の問いに、解答用紙1枚程度で答えなさい。

歴史学研究にとって一次資料は欠かすことができない。具体的な一次資料を取り上げ、その可能性と限界について論じなさい。

設問2. ①～⑥の語句のなかから2つを選択し、それぞれ150字以上で説明しなさい。

- ① 公会議（キリスト教）
- ② 巡礼
- ③ 性別二元論
- ④ ドレフュス事件
- ⑤ デジタル・ヒストリー
- ⑥ トゥサン＝ルヴェルチュール

設問3 次は、Peter Burke, *History and Social Theory*, New York: Cornell University Press, 2005, pp.92-95.からの抜粋である。以下の問いに答えよ。

(1) ①、②、③の枠内をそれぞれ日本語に訳しなさい。

(2) 著者は、社会運動の性格を 'active' と 'reactive' なものにかけて説明している。本文に即して、それぞれの内容をまとめなさい。

(3) 社会的抵抗と社会運動について、著者が論じる歴史学上の三つの問いについて、本文に即して説明しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

令和8（2026）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻（人文地理学受験分野）筆記試験
[問題用紙は2枚です。]
（1枚目/2枚中）

（中辞典程度の英語辞書の持ち込みを可とします）

以下の問1～問3に答えなさい。解答は解答用紙に記入のこと。

問1

次の(a)～(f)は、人文地理学に関連する用語を挙げたものである。これらの中から一つを選んで簡潔に説明しなさい。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

- | | |
|--------------------------------|--------------|
| (a) 国際価値連鎖（Global Value Chain） | (b) コンパクトシティ |
| (c) 集積の利益 | (d) 再都市化 |
| (e) フードデザート問題 | (f) 集落営農 |

問2

次の(a)～(d)の問いの中から一つを選んで解答しなさい。なお、選んだ問いのアルファベットを明記すること。

- (a) 日本農業における6次産業化の取り組みとその背景について、具体例を挙げて説明しなさい。
- (b) 日本国内の地域間経済格差を是正するために行われてきた政府の取り組みを一つ挙げて、具体的に説明しなさい。
- (c) 2000年以降の東京における都心空間の変化について、多角的かつ具体的に説明しなさい。
- (d) 空間的相互作用とそれに基づく地理学のモデルを一つ挙げて、具体的に説明しなさい。

(2枚目/2枚中)

問3

次の英文はある学術論文の要旨の全文（一部改変）である。これを読んで、下の問い(問ア・問イ)に答えなさい。

[問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。]

Leite, A. et al. 2024. Changing human–nature relationships: Insights from Guinea-Bissau woodlands. *People and Nature* 6: 2587-2601. <https://doi.org/10.1002/pan3.10737> より p.2587 の要旨を全文抜粋・一部改変。

問ア

上の英文中の下線部を日本語に訳しなさい。

問イ

この論文が明らかにしたことを3点、簡潔に述べなさい。

令和 8 (2026) 年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程/一般選抜・冬期試験) 入学者選抜試験問題
人文学専攻 (中国文学受験分野) 筆記試験
[問題用紙は 2 枚です。]

I 次に挙げる二首の詞を読んで、後の問いに答えよ。解答はすべて日本語を用いること。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
唐圭璋編、『全宋词』、中華書局、1965 年、10・92 頁。一部改変。

- 問一 二首の押韻について、韻字をすべて挙げながら説明せよ。
問二 二首を日本語訳せよ。
問三 二首はともに「斜陽」や「楼」のイメージについて表現しているが、その表現手法や表現内容はどう異なるか。二首の全体を踏まえて分析せよ。

II 次に挙げる文章を読んで、後の問いに答えよ。解答はすべて日本語を用いること。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
(余嘉錫、『古書通例』、上海古籍出版社、1985 年、93—94 頁、一部省略)

- 問一 下線部を日本語訳せよ。

- 問二 上の文章は、「諸子」と「文集」を比較するにあたり、どのような点に着目しているのか。
- 問三 上の文章で論じられている古書の創作・編纂・出版は、近代以降の文学における創作・編纂・出版とどのように異なっているか、自由に述べなさい。

令和8（2026）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻（英米文学受験分野）筆記試験
[問題用紙は3枚です。]
（1枚目/3枚中）

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

I. 次の英文を読んで、下の設問に答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下のとおりです。

- (1) この2つのパラグラフを300字程度の日本語で要約しなさい。
- (2) ここでのGothicの説明をふまえて、Jane Austenの小説にみられるGothic的特徴について、400字程度の日本語で解説しなさい。

【出典】 Fred Botting, *Gothic*, Routledge, 1996, p. 5, l. 6-p. 6, l. 14.

II. 次の英文を読んで、下の設問に答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下のとおりです。

- (1) 下線部を日本語になおしなさい。
- (2) 主人公 Emily の人生についてどのような物語的状況が読み取れるか、100～150語程度の英語で説明しなさい。

【出典】 William Faulkner, “A Rose for Emily,” *The Portable Faulkner*, edited by Malcolm Cowley, revised and expanded ed., Penguin Books, 2003, p. 392, l. 1-p. 394, l. 18.

(2 枚目/3 枚中)

III. 次の英詩を読んで、下の設問に答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下のとおりです。

- (1) この詩の第 3 スタンザおよび第 4 スタンザを日本語になおしなさい。
- (2) 第 5 スタンザで、詩人はなにを伝えようとしているのか。200 字程度の日本語で解説しなさい。

【出典】 Brian Martin (ed.), *Macmillan Anthologies of English Literature: The Nineteenth Century (1798-1900)*, Macmillan Education, 1989, p. 324, CXV ll. 1-20.

IV. 次の日本語の文章を読んで、傍線部を英語になおしなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下のとおりです。

【出典】 武田悠一『アレゴリーで読むアメリカ／文学——ジェンダーとゴシックの修辞学』(春風社, 2017 年), p. 11, 1.8-1.15.

(3 枚目/3 枚中)

【外国語】

V. 次の英文を読んで、下の設問に答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下のとおりです。

- (1) 下線部 (イ) を日本語になおしなさい。
- (2) 下線部 (ロ) を日本語になおしなさい。

【出典】 Jamie Q. Roberts, “Guide to the classics: Joseph Conrad’s Lord Jim sees humanity’s darkness,” *The Conversation*, August 20, 2025. <https://theconversation.com/guide-to-the-classics-joseph-conrads-lord-jim-sees-humanitys-darkness-247565>. 一部改変.

令和8(2026)年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／一般選抜・冬期試験)入学者選抜試験問題

人文学専攻 (ドイツ文学受験分野) 筆記試験

[問題用紙は3枚です。]

(1枚目/3枚中)

問1 以下のドイツ文を読み、設問に答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

(出典 Politzer, Heinz: *Franz Kafka. Der Künstler*. Frankfurt a. M.: Suhrkamp, 1978. S.259/Z.1-33. 出題に際して一部改変している。)

設問1 下線部(A)および(B)を日本語に訳しなさい。

設問2 ここで指摘されている文学史的事象について、関連する具体的な作品とその内容をふまえながら自由に論じなさい。

(2枚目/3枚中)

[外国語 英語]

問2 以下の英文を読んで、下線部(A)および(B)を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

(出典 Pascal, Roy: *Kafka's Narrators: A Study of His Stories and Sketches*. Cambridge: Cambridge University Press, 1982. p.1/ll.3-24.)

(3枚目/3枚中)

問3 以下のテーマからひとつを選び、ドイツ語で自由に論じなさい(200語程度)。

1) Vorstadt

2) Schicksal

3) Enttäuschung

令和8(2026)年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程/一般選抜・冬期試験) 入学者選抜試験問題
人文学専攻(フランス文学受験分野) 筆記試験
[問題用紙は2枚です。]
(1枚目/2枚中)

問1 次の「」内の文章を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下のとおりです。

注) *feinte* : 見せかけ *dément* : 錯乱した *atterré* : 呆然とした *loyal* : 公正な
grief : 不満

【出典】 André Gide, *L'École des femmes*, inclus dans *Romans et récits : Œuvres lyriques et dramatiques*, Paris, Gallimard, 2009, 2 vol., t. II, p. 637, l. 38 – p. 638, l. 10.

[1枚目/2枚中]

(2 枚目/2 枚中)

問 2 次の問いにフランス語で答えなさい。

Présentez le sujet de recherches que vous voulez étudier en master.

問 3 【外国語（英語）筆記試験】 次の英文を読んで、下の設問に答えなさい。

- (1) 下線部（イ）を日本語になおしなさい。
- (2) 下線部（ロ）を日本語になおしなさい。

【問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。】

【出典】 Jamie Q. Roberts, “Guide to the classics: Joseph Conrad’s Lord Jim sees humanity’s darkness,” *The Conversation*, August 20, 2025. <https://theconversation.com/guide-to-the-classics-joseph-conrads-lord-jim-sees-humanitys-darkness-247565>. 一部改変.

[2 枚目 / 2 枚中]

令和8（2026）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻（テキスト環境論受験分野）筆記試験
[問題用紙は 4 枚です。]
（1枚目/ 4 枚中）

I ハンガリーの文芸批評家 György Lukács について書かれた次の英文を読み、後の二つの問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

出典：

Robert Dale Parker. *How to Interpret Literature: Critical Theory for Literary and Cultural Studies*.
3rd ed., Oxford UP, 2015, p. 226, ll. 11–33.

- (イ) 括弧「」内を日本語に訳しなさい。
(ロ) Lukács の “modernist fiction” に対する評価はどのようなものであったと本文では述べられているか。日本語でわかりやすく説明しなさい。

Ⅱ 下の文章を読んで、翻訳された詩の工夫や改変について、原文の詩と比較しながら分析して論じなさい。出典は、矢野峰人訳『シモンズ選集』(アルス, 1921), pp.5-7 および Arthur Symons, *Poems by Arthur Symons*, Volume I (London: William Heinemann, 1907), p.3 です。

阿片喫む人

われ今ふかき淵に落ち、えもいひがたき夢ごこ

ちおぼれてゆけば、

えならぬ香にもたとふべきやさしき樂は、

音にもいづべき美し香に色も黄金に照り映ゆる

妙の光ともろともに、

この現身をとこしへに死出の衣にまとふかな。

「時」既にわれにあらなく、身はここに停止るご

とく、去るごとし。

身は果しなき萬世の夜につつまれ、

われは飲み乾すよろこびの千萬の世を。

われは未来を記憶のなかににぎれり。

またわれここにわが借れる屋根部屋有てり。

藁の褥も椅子なりしこの器具もまた、

破れはてし幄めきし衰残の肉體もここに、

また鼠喰ひのこせし麵麩の殻皮、

阿片喫む煙管もここに。憤怒、悔恨、絶望も、

眠は？眠はすべてよりそはず。

ああそはいかに忘れ得ぬいかなる罪か

質草のこの靈魂も、恍けたるこのわが胸も。

(表記を一部変えたところがあります)

質草：質屋で金銭を借りる際に担保として預ける品物のこと

The Opium-Smoker.

I am engulfed, and drown deliciously.
Soft music like a perfume, and sweet light
Golden with audible odours exquisite,
Swathe me with cerements for eternity.
Time is no more. I pause and yet I flee.
A million ages wrap me round with night.
I drain a million ages of delight.
I hold the future in my memory.

Also I have this garret which I rent,
This bed of straw, and this that was a chair,
This worn-out body like a tattered tent,
This crust, of which the rats have eaten part,
This pipe of opium ; rage, remorse, despair ;
This soul at pawn and this delirious heart.

Engulf: to be completely submerged or overwhelmed.

Audible odours: synaesthetic "sounds" of scent; the speaker hears perfume as music, blending hearing and smell in a drug-induced Symbolist ecstasy that dissolves normal sensory boundaries.

Swathe: to wrap or bind; ceremonial covering suggesting both comfort and entombment.

Cerement: a burial shroud; the "cerements for eternity" invoke death, not life.

Drain: to drink up or consume completely.

Garret: a cramped attic room; Victorian shorthand for urban poverty and desperation.

Tattered: worn to shreds; the speaker's body and dignity reduced to fragments.

Crust: a scrap of bread.

Pawn: pledged as collateral; the speaker has mortgaged his soul for temporary oblivion.

Delirious: mentally deranged with wild excitement.

Ⅲ 次の文章は、三島由紀夫の戯曲「道成寺」の一部です。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

出典 三島由紀夫『近代能楽集』(新潮社、一九六八年三月刊行、二〇〇四年五月改版、一九二頁二行目～一九五頁一六行目)

問

- (イ) 傍線部(1)について、「でももう何が起ろうと、決して私の顔を変えることはできません」とはどういうことか。本文に即して説明しなさい。
- (ロ) 三島由紀夫は、『近代能楽集』の「あとがき」において、本作を「謡曲」を「翻案」する「企て」であると述べている。「翻案」について、あなたの知っているところを述べながら、三島由紀夫「道成寺」における「企て」とはいかなるものであったと考えられるか、論じなさい。

(4枚目 / 4枚中)

令和8（2026）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
日本学専攻（日本史学受験分野） 筆記試験

[問題用紙は9枚です。]
(1枚目／9枚中)

【注意】 設問（I）については、解答用紙は縦長に使い、横書きで解答して下さい。

(I) 外国語問題

次の英文は、William Elliot Griffis の著作、*The Mikado's Empire* の一部である。この文章を日本語に訳しなさい。[15点]

Within this belt lies more than a majority of the largest cities, best ports, richest mines, densest centres of population, classic localities, magnificent temples, holy places, tea-plantations, silk districts, rice-fields, and manufactures. Here, also, have been developed, in times past, the nation's greatest treasures—the best blood, the commanding minds, and the men that have ruled Japan.

It is interesting to note the shifting of the scenes in the drama of Japanese history. In the most ancient times, the ablest men of action and intellect were produced in Yamato, or in the Kinai. In the Middle Ages, they arose in the Kwantō. At the opening of modern history, they sprung from the Tōkaidō (Mino, Owari, Mikawa). In the latest decades, they came from Kiushiu and the south (Chōshiu, Satsuma, Tosa, and Hizen).

(出典：William Elliot Griffis, *The Mikado's Empire*, Book II. Personal experiences, observations, and studies in Japan, 1870—1874, New York, Harper & Bros., 1899, p.391 l 29 - p.392 l 10.)

(問題文は次に続く)

(二枚目／九枚中)

【注意】設問(Ⅱ)～(Ⅴ)については、解答用紙は横長に使い、縦書きで解答して下さい。

(Ⅱ) 次の問いに答えなさい。

[25 点]

古代・中世・近世・近代のそれぞれの時代における家族の形態と機能について、具体的に述べなさい。

(Ⅲ) 次の歴史的名辞(Ⅰ)～(Ⅳ)のうち三つを選び、研究史上の論点をふまえて説明しなさい。

[15 点]

(Ⅰ) 仏教伝来

(Ⅱ) 半済令

(Ⅲ) 越後騒動

(Ⅳ) 明治六年政変

(問題文は次に続く)

(三枚目／九枚中)

(Ⅳ) 次の設問(1)～(4)のうち、二つを選んで答えなさい。

[30点]

(1) 次の史料は、『続日本紀』延暦九年(七九〇)十月癸丑(二十一日)条である。この史料を読んで、①～③の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【青木和夫ほか校注『新日本古典文学大系16 続日本紀5』、岩波書店、一九九八年、四七六～四七八頁】

- ① 傍線 a を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。
- ② 傍線 b を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。
- ③ この史料全体の趣旨を簡潔に述べなさい。

(問題文は次に続く)

(四枚目／九枚中)

- (2) 次の史料は、東京大学史料編纂所編『大日本古記録 後深心院閑白記』五(岩波書店、二〇一二年)一六一・一六二頁からの引用である。『後深心院閑白記』永和二年(一三七六)六月十八日条を読んで、①と③の問いに答えなさい。なお、史料は一部改変した箇所もある。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【東京大学史料編纂所編『大日本古記録 後深心院閑白記』五、岩波書店、二〇一二年、一六一～一六二頁】

- ① 傍線 a の内容に該当する箇所の最後の三文字を書きなさい。
- ② 傍線 b を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。抹消部分は除外してよい。
- ③ 傍線 c を漢字・平仮名交じりの書き下し文にし、現代語訳しなさい。

(問題文は次に続く)

(五枚目／九枚中)

- (3) 次の史料は、駒井重勝著、藤田恒春編校訂『増補 駒井日記』(文献出版、一九九二年)所収のものである。この史料を読んで、①～③の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【駒井重勝著、藤田恒春編校訂『増補 駒井日記』、文献出版、一九九二年、二八四頁】

- ①この史料における「大閤様」(ママ、太閤様)とは誰を指すか。人名を答えなさい。
- ②この史料における「御朱印」の前は、それぞれ一字あいている。この意味を説明しなさい。
- ③この史料の「御寺領之儀」から「可進候」までを、「御継目 御朱印儀」の意味に注意しながら正確に現代語訳しなさい。

(問題文は次に続く)

(六枚目／九枚中)

- (4) 次の史料は、一九四九(昭和二四)年に原本が発行された『夢の七十余年 西原亀三自伝』の一部である。この史料を読んで、①～③の問いに答えなさい。なお、史料は一部改変した箇所もある。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【北村敬直編『夢の七十余年 西原亀三自伝』、平凡社、一九六五年、二二二～二二三頁】

- ① 傍線 a 「親善の手をにぎり合った兄弟」と傍線 b 「仲よくすべき中国」との評価は、具体的にどのような施策を背景とするのか、述べなさい。
- ② 傍線 c 「政権に飢えた青鬼や、侵略を好む赤鬼ども」は何を指すのか、理由とともに述べなさい。
- ③ 本史料を一次史料として用いる場合、どのような問いを設定できるか、理由とともに述べなさい。

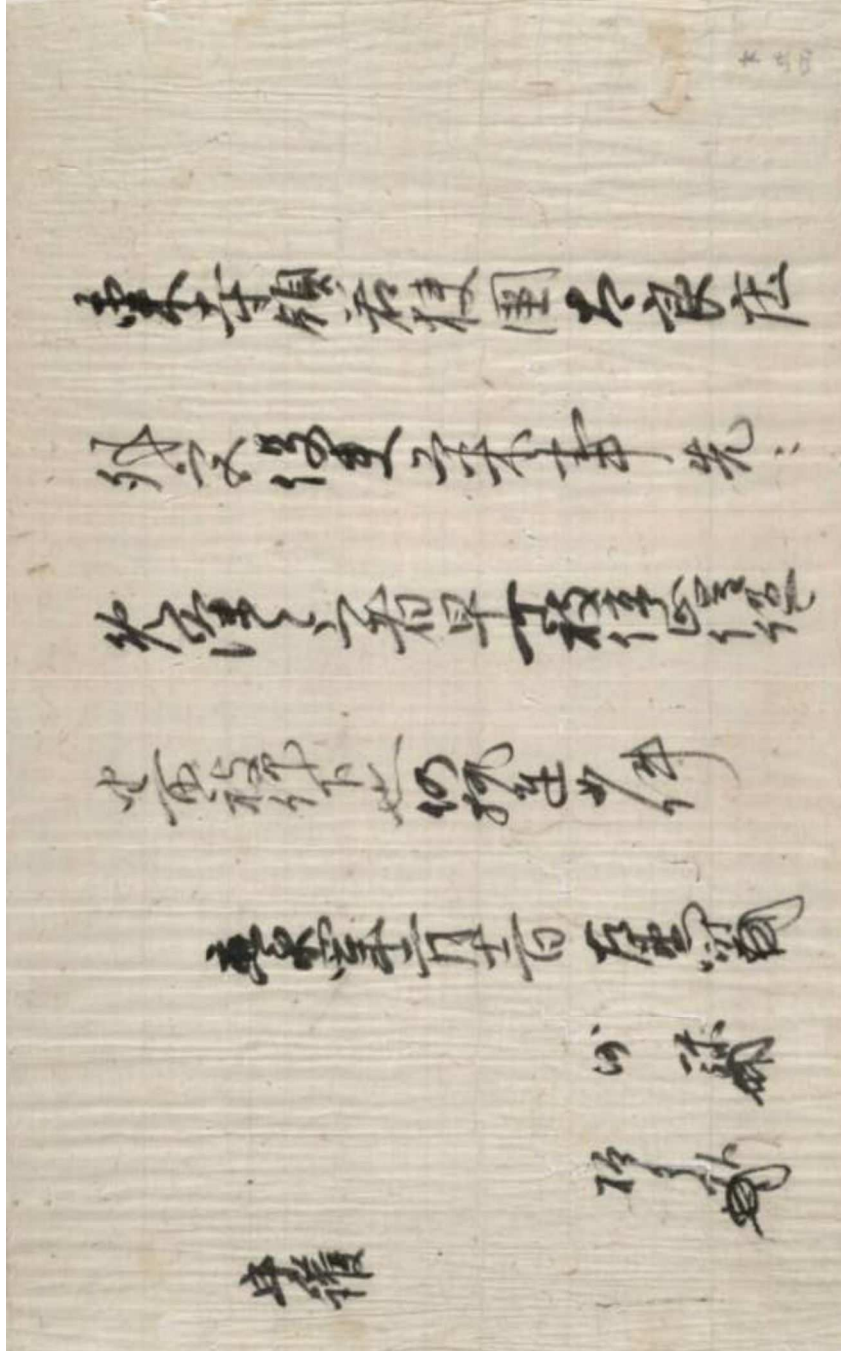
(問題文は次に続く)

(七枚目／九枚中)

(V) 次の設問(1)～(3)のうち、一つを選んで答えなさい。

[15点]

(1) 次の古文書の全文を、漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。解答にあたっては、できるだけ原文にしたがって改行すること。



(問題文は次に続く)

〔応永四年(二三九七)年二月二日「室町幕府奉行人連署奉書」東寺百合文書才函94号、東寺百合文書WEB〕

(八枚目／九枚中)

- (2) 次の古文書の見取書(くずし字をそのまま現在の文字に置きかえて写すこと)を記しなさい。なお、原文にしたがって改行すること。

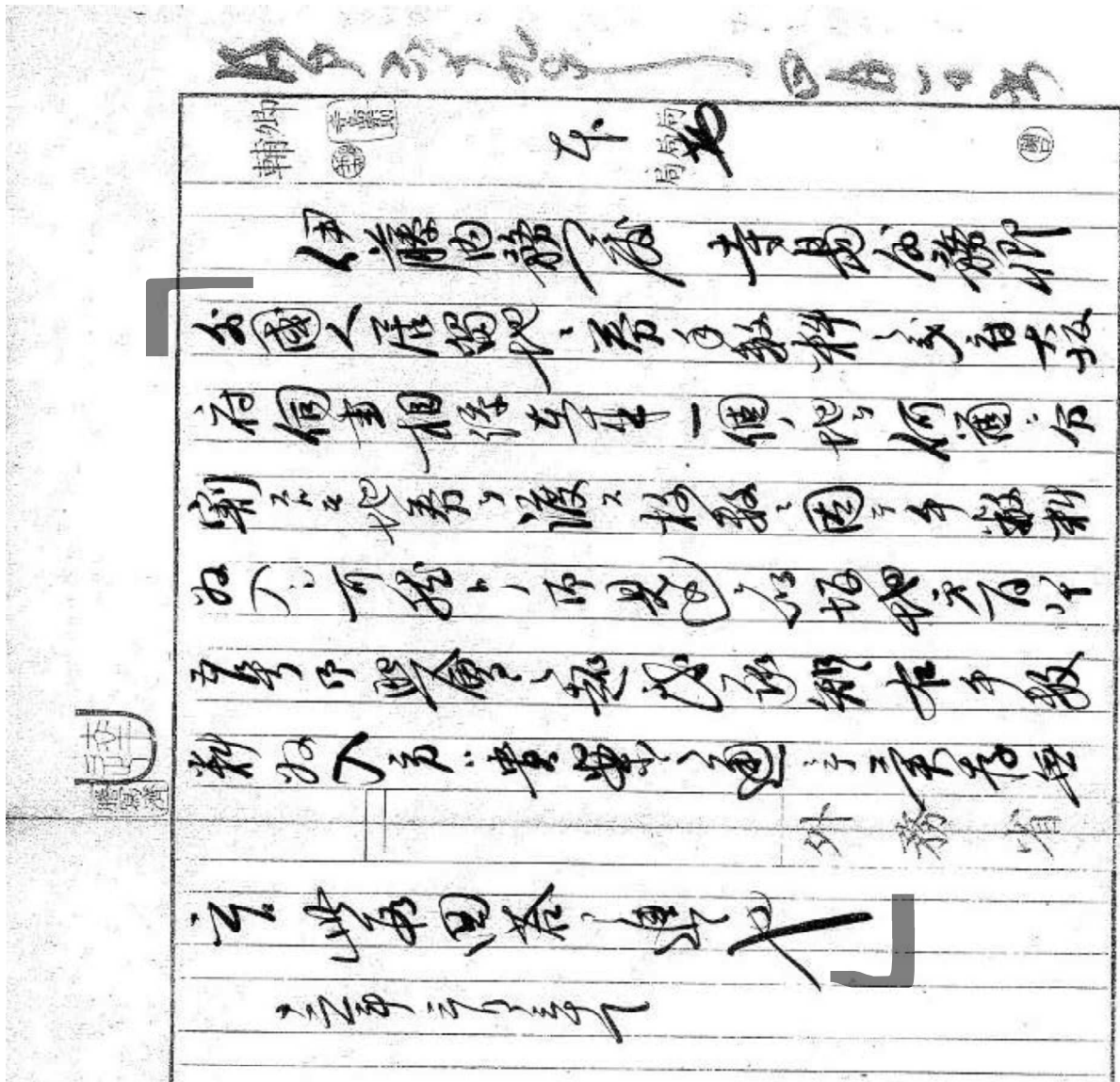
著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【国立公文書館内閣文庫編『内閣文庫所蔵史籍叢刊 第八九巻 雜留(一)』汲古書院、一九八八年、六五頁上段】

(問題文は次に続く)

(九枚目／九枚中)

- (3) 次の史料の「 」で囲んだ部分について、見取書(くずし字をそのまま現在の文字に置きかえて写すこと)を記しなさい。なお、原文にしたがって改行すること。



(大阪外国人居留一箇之地分割新地券下附ノ節手数料取立方向府伺係内務卿ヨリ協議之件) (JACAR
[アジア歴史資料センター] Ref. B12083281500 外務省外交史料館三一―二―一―三、西像五)

令和8(2026)年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／一般選抜・冬期試験) 入学者選抜試験問題
日本学専攻 (考古学 受験分野) 筆記試験

[問題用紙は3枚です。]

(1枚目/3枚中)

問1 考古学からみた都市の条件についてこれまでに示されてきた見解を説明し、その上で日本ならびに東洋・西洋における都市遺跡の具体的な事例を挙げながら、その特質を述べなさい(800字以上)。

問2 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。

- (1) 全文を日本語に訳しなさい。
- (2) 下線部①に関連して、本文の内容と対比しながら、日本列島において新たな宗教や観念の伝来に伴い埋葬がどのように推移するのかについて、具体例を挙げながら述べなさい。
- (3) 下線部②に関連して、日本列島における埋葬頭位にかかわる研究について、具体的な事例を挙げ、その歴史的意義づけを含めて説明しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

John Hunter, Ian Ralston (Ed.) 2009, *The Archaeology of Britain: An Introduction from Earliest Times to the Twenty-First Century*, 2nd Edition, Routledge, p.233, l.36- p.234, l.12.

問3 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。

- (1) 全文を日本語に訳しなさい。
- (2) 下線部①について、著者の学史的貢献を含めて、詳しく説明しなさい。
- (3) 下線部②に関して、詳しく説明しなさい。
- (4) 下線部③に関して、具体的な考古資料を1つ挙げ、その歴史的背景について説明しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Thomas C. Patterson, Charles E. Orser Jr. (Ed.) 2004, *Foundations of Social Archaeology: Selected Writings of V. Gordon Childe*, AltaMira Press, p.10, ll.1- 25.

問4 次の語句等について詳しく説明しなさい。

- (1) Newgrange (Irish: Sí an Bhrú)
- (2) 広田遺跡
- (3) 五條猫塚古墳
- (4) 御所野遺跡
- (5) 免田式土器
- (6) 山科本願寺跡
- (7) 神雄寺遺跡
- (8) 芬皇寺 (분황사)
- (9) 銅鼓文化 (*Văn hóa Đông Sơn*)
- (10) LiDAR (light detection and ranging)

令和八（二〇二六）年度

大阪大学大学院人文学研究科人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題

日本学専攻（日本文学・日本語史学受験分野） 筆記試験

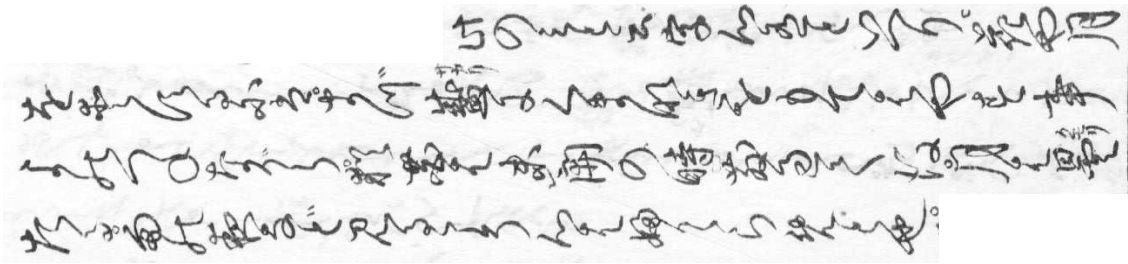
「問題用紙は七枚です。」

（一枚目／七枚中）

- 【一】 次の文章は、『徒然草』の注釈書『徒然草文段抄』（北村季吟著、寛文七（一六六七）年刊行）の一部です。これを読んで、後の問いに答えなさい。（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

これより以下をもとより下巻とわかつてり。この段の大意は情をもととしてよろづ閑に観する所をせんと書けり。

はじめには花月の上男女の中の情をいひ、中間より祭見ることにより都鄙の人のありさまをうつし、終りに例の無常を觀ぜり。その文の変態、不可説未曾有にして古来稱美の段なり。花はさかりに月はくまなきをのみ見る物かは くまなきとはくもりなきなり。（中略）



これ又兼好の人にことなる文章なるべし。

- * 徹書記の物がたりに、①かやうの心根をもちたるものは世間に兼好一人ならではなし。此心は生得にてあるなりといへり。六家集のうたに
家隆卿 世の中をおもひつづけて見る時はちこそ花のさかりなりけれ
西行 ②なかなか時々雲のかかるこそ月をもてなすけしきなりけれ
③このたぐひ、歌人の情にあらずはいかでかかやうには侍るべからん。誠に浅からぬみちなりかし。

（『徒然草文段抄』より。国立国会図書館蔵本（10.11501/2562713）による）

注 徹書記の物がたり―『正徹物語』

- 問一 影印部分をすべて正確に翻字しなさい。なお、改行箇所は原文に従うこと。（ただし、ふりがなは翻字しないものとする。）
問二 傍線部①について、「かやうの心根」がどのような内容を指すのか明確にして現代語訳しなさい。
問三 傍線部②の和歌を現代語訳しなさい。その上で、この歌に表現された美意識について、『徒然草』における兼好の見識を踏まえ、詳しく説明しなさい。
問四 傍線部③を踏まえ、季吟が兼好をどのように評価しているのか詳しく説明しなさい。

(二枚目／七枚中)

二 次の資料は、芥川龍之介による小説「鼻」(一九二六年発表)の①草稿・②現代の文庫版(新潮文庫二〇〇八年)の冒頭部である。①②を読んで後の問いに答えなさい。(この問いについて解答用紙一枚を用い、縦書きにすること)

①草稿

「所蔵者の権利に配慮し、省略します。」

※ 左記URL「鼻」草稿」の四行／六行。

四行目「云へば」に傍線A、六行目「下つてゐる」に傍線Bを付す。

(山梨県立文学館所蔵「鼻」草稿 <https://digital-archive.pref.yamanashi.jp/database/detail/67>)

②現代の文庫版

「校訂者の権利に配慮し、省略します。」

※ 芥川龍之介『羅生門・鼻』(新潮文庫・平成一七年版)、二〇頁一行／三行。

二〇頁一行目「云えば」に傍線a、二〇頁三行目「下っている」に傍線bを付す。

(『羅生門・鼻』新潮文庫による)

問一 傍線部Aとaにおいて、Aは「云へば」、aは「云えば」とある。この相違について、日本語の音韻史および表記史の観点から説明しなさい。

問二 傍線部Bとbにおいて、B「下つてゐる」、b「下っている」のように用いられている文法形式「〜テイル」の、現代日本語での意味用法を記しなさい。そのうえで、「〜テイル」の歴史的変遷を調査する方法を具体的に説明しなさい。

問三 ①または②について、問一・問二で取り上げた箇所以外から、日本語史の観点であなたが注目する箇所を一箇所抜き出し、理由を示したうえで詳しく説明しなさい。

(三枚目／七枚中)

* 日本文学専攻予定のものは三(A)を、日本語史学専攻予定のものは三(B)を選択しなさい。

三(A) 次の文章は、井戸川射子「マイホーム」の一部です。この文章を読み、後の問いに答えなさい。(この問題について解管用紙一枚を用い、縦書きにすること。不足の場合は追加用紙を申し出ること)

「著者の著作権に配慮し、省略します。出典は以下の通りです。」

※井戸川射子『この世の喜びよ』講談社、二〇二二年一月発行、九九頁一行～一〇四頁一〇行。

一〇三頁四～五行「何でも最初は私としよう、スタグもドトールも私と行こう」と二人の脚を両手でさすりながら彼女は言う」に傍線①、一〇四頁八～九行「私は一人で歩く時に、両腕をどう振っていたんだっけと思った」に傍線②を付す。

(四枚目／七枚中)

『著者の著作権に配慮し、省略します。』

(五枚目／七枚中)

『著者の著作権に配慮し、省略します。』

(井戸川射子 『この世の喜びよ』講談社、二〇一二年十一月発行、九九～一〇四頁。『早稲田文学増刊号 家族』通巻一〇三七号、二〇一二年三月初出。)

(六枚目／七枚中)

- 問一 傍線部①「何でも最初は私としよう、スタバもドトールも私と行こう、と二人の脚を両手でさすりながら彼女は言う」とあるが、それはなぜか。本文全体の内容を踏まえ、論述しなさい。
- 問二 傍線部②「私は一人で歩く時に、両腕をどう振っていたんだっけと思った」とあるが、それはなぜか。本文全体の内容を踏まえ、論述しなさい。
- 問三 この小説の右の場面における物語内容と物語行為(語り)、ストーリーとプロットについて分析し、論述しなさい。
- 問四 この小説をあなたが論じるとしたら、どのように論じるか。小説テキスト内の分析、語りや叙述、引用や翻案などの他作品との相互関係の考察や比較、同時代状況との関係性、あなた自身の問題関心と交錯させての考察など、この小説を論じる場合に、あなたが着想するアイデアや方向性を示し、論述しなさい。

(七枚目／七枚中)

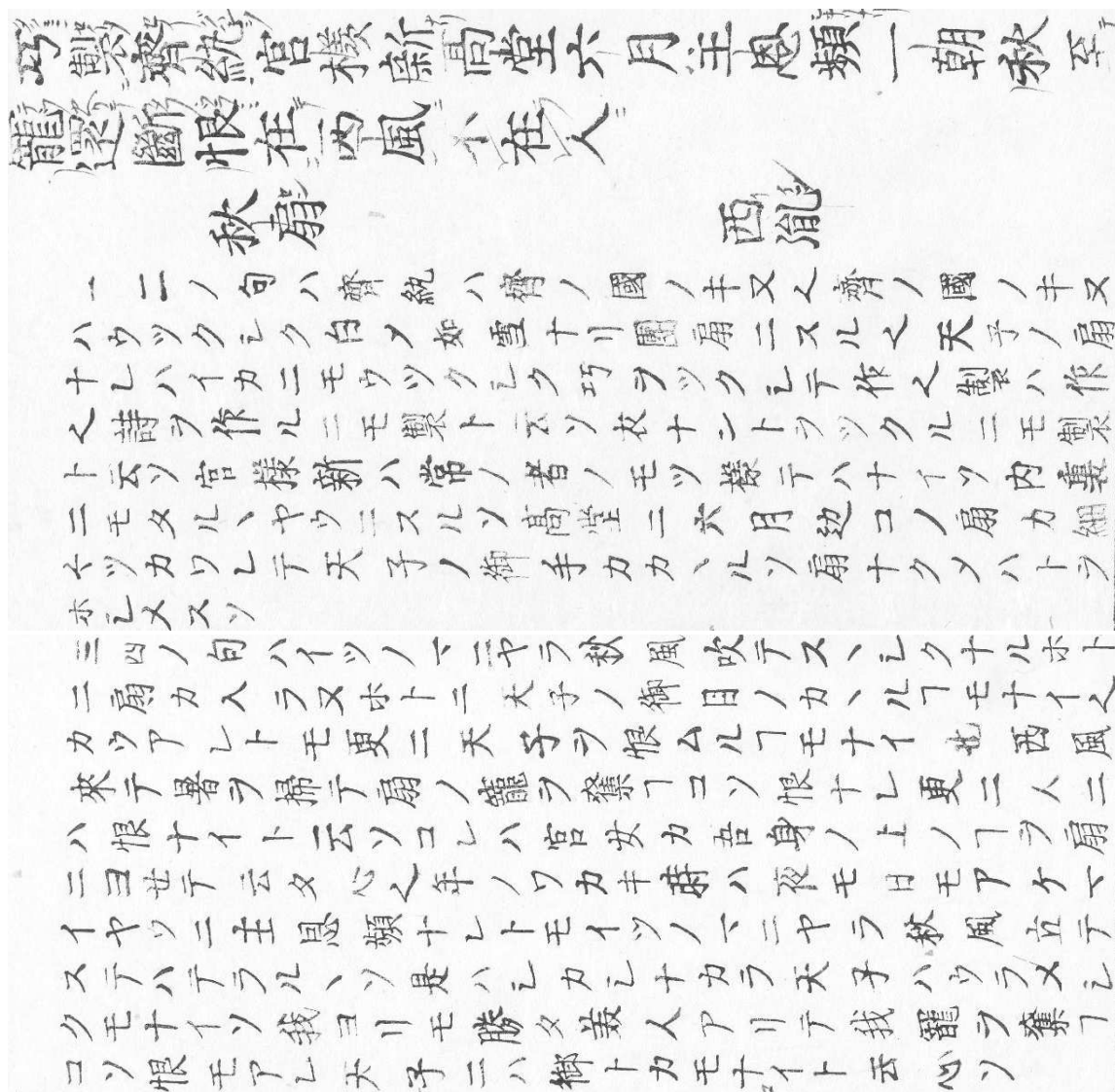
三 (B) 次の問いに答えなさい。(この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにするこ
と)

問一 次の用語・事項について知るところを述べなさい。

- (ア) 言海
- (イ) 富士谷成章
- (ウ) 順行同化・逆行同化

問二 次の資料は『中華若木詩抄』の一部である。これを読み、次の①②に答えなさい。

- ① この資料の日本語史上の位置付けについて、知るところを述べなさい。
- ② この箇所から着想できる日本語史の研究課題を設定し、調査方法とともに説明しなさい。



(東京大学総合図書館所蔵『中華若木詩抄』(A00:5797))

<https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/portal/assets/438e681b-6c2e-5b3d-0769-92d2f0f566a4>)

令和 8(2026)年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

(博士前期課程/一般選抜・冬期試験)入学者選抜試験問題

芸術学専攻 (アート・メディア論受験分野) 筆記試験

[問題用紙は 2 枚です。]

(1 枚目/2 枚中)

問 1 次に挙げる 8 つの用語もしくは固有名詞のなかから 5 つを選び、それぞれを 5 行程度の日本語で説明しなさい。

- (1) 木村伊兵衛 (2) 『私の鶯』 (3) ゼツェッション建築 (4) ペーター・ベーレンス
(5) ショット・リバーショット (6) ダイレクト・シネマ (7) 大野一雄 (8) コロス

問 2 次に挙げる 4 つの設問(1)~(4)の内から 2 つを選び、日本語で解答しなさい。

(1) ボーンデジタルとフィルムの映像（写真を含む）表現の差異について、具体例を挙げてメディア史の観点から論じなさい。

(2) ロングテイク（長回し）が特徴的な映像作品の例を挙げ、具体的な場面の分析を通して、それが映画の歴史といかに関わり合っているか、論じなさい。

(3) 万国博覧会において、進歩を展示するため用いられてきた手法を複数挙げ、歴史的に考察しなさい。

(4) 別紙の写真①は、2018 年落慶の、奈良県の興福寺の中金堂である。この建物は、創建以来、7 回もの焼失と再建を繰り返したのち、写真に見られる姿に再建された。その際、建物の構造や意匠に関しては、奈良・平安・中世期の史料を専門家が検討し、創建当初に近い姿の復元が目指された、とされる。

以上をふまえて、以下の問いに答えなさい。

A. 写真①の建築様式について建築史的に解説しなさい。

B. 写真①の建物のように、一度完全に姿を消した過去の建築を、史料にもとづき、物理的に実際の縮尺で復元する行為について、その「メリット」と「問題点」の双方を考察しなさい。

C. あなたが理想とする、歴史的建造物の復元や修復保存のありかたを述べなさい。その際、写真①とは異なる、具体的な建築物の事例を 1 つ以上挙げて考察すること。

(2 枚目/2 枚中)

画像は、著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下のとおりです。

写真①

画像出典：

https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/8/8d/181029_Ch%C5%AB-kond%C5%8D_of_K%C5%8Dfuku-ji.jpg

令和8（2026）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程/一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題

芸術学専攻（美学受験分野）筆記試験

[問題用紙は2枚です]

（1枚目 / 2枚中）

すべて日本語で解答しなさい。

解答の文字数は問いません。

長文になるときは段落ごとに内容を整理すること。

問1 次の9つの語のうち2つの語を選び、それぞれについて、その語の意味を確認したうえでその語によって何が問題になってきたか、何が問題となりうるのかについて論じなさい。

(20×2=40点)

日常美学	環境美学	美的経験
美的性質	感性	作品
参加	コミュニティ	親しみ

問2 別紙の英文において、著者は「非-美的反応」(non-aesthetic response)の事例を二種類に分けて解説しています。英文の内容をふまえて、著者がそれぞれの種類の反応を「非-美的」とみなしているのはなぜか説明しなさい。そのうえで、「美的反応」(aesthetic response)と「非-美的反応」との区別とその基準について、あなたの考えを述べなさい。

(30点)

出典 Robbie Kubala, "Varieties of Aesthetic Response", in *Philosophical Topics*, Vol. 52, No.1, 2024, p.47, ll.8-29.

問3 私たちの研究室において、学生たちは、美術・音楽・写真・工芸・思想などの分野において研究対象を定めるほか、自分の定めた研究対象をどういう関心から論じるのかに関連して、自分の問題関心を一言であらわしたキーワードを定めます。たとえば、あなたが自分の研究キーワードを「ポストヒューマニズム」と定めたならば、①それが何を意味するのか（本質）②それがなぜ重要なのか（意義）③その考えがいつに展開してきたのか（経緯）④それがどのようにありうるか（展望）といった問いが付随するはずですが。そこで、現時点のあなたにとって一番重要なキーワードをひとつ定めて、それにまつわる「問い」を明らかにし、その「問い」にどう答えることができるか、現時点での考えを述べなさい。

(30点)

(2 枚目 / 2 枚中)

別紙

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

令和8（2026）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題

芸術学専攻（音楽学受験分野）筆記試験

[問題用紙は3枚です。]

（1枚目/3枚中）

問1 次の文章を読んで、ここで述べられている音楽観について学術的に説明したうえで、あなた自身の考えを述べなさい。[配点40点]（出典：沼田里衣「障害のある人とともに「音楽文化」を考えるということ」、音遊びの会『即興がつなぐ未来：音楽と社会の狭間でおととと』2025年、岩波書店、28頁7-16行）

（問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。）

(2枚目/3枚中)

問2 次の英文を日本語訳しなさい。なお、譜例のキャプションは訳す必要はありません。また文中の Colinda「コリンダ」とはルーマニアのクリスマス前後に歌われる子供達の門付けの歌のことです。[配点 30 点] (出典：Iulia Mogoșan, “György Kurtág’s Time in Romania and Its Impact on His Personality and Work”, in *Perspectives on the Music of György Kurtág: Performance, Language and Memory*, Rachel Beckles Willson, Gergely Fazekas (eds), Brepols, 2025, p.64, l.9 - p.65, l.3.)

(問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。)

(3枚目/3枚中)

問3 次の英文記事を要約し、あなた自身の研究テーマと関連させながら論じなさい。

[配点 30 点] (出典：Zachary Woolfe, “John Cage Shock: When Japan Fell for Cage and Vice Versa”, The New York Times (online), Sept. 23, 2023

<https://www.nytimes.com/2023/09/23/arts/music/john-cage-japan-society.html>)

(問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。)

令和8（2026）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
芸術学専攻（演劇学受験分野）筆記試験
〔問題用紙は3枚です。〕
（1枚目/3枚中）

問1 以下の6つの語すべてについて、それぞれ解答用紙5行以内の日本語で説明しなさい。

- (1) サミュエル・ベケット (2) コメディア・デラルテ (3) 蜷川幸雄
(4) 『わらんべ草』 (5) 人形浄瑠璃 (6) 松羽目物

問2 選択問題です。近現代演劇（西洋演劇）研究志望者は設問1、伝統演劇（芸能史）研究志望者は設問2を選んで解答してください。

設問1）問題用紙2枚目は、Catherine Rees, *Contemporary British Drama* (London: Red Globe Press, 2020), p. 30, l. 14 - p. 31, l. 16 の文章です。これを読み、次の問題に日本語で答えなさい。

- (1) 下線部 a, d を日本語に訳しなさい。
(2) 下線部 b とはどのようなことか、本文の内容に則して説明しなさい。
(3) 下線部 c について、劇作家に対するラベリングが批評家に与える影響について具体例を挙げて論じなさい。

設問2）問題用紙3枚目は、狂言「いろは」（天理図書館善本叢書 和書之部 第二十三巻『狂言六義』上、天理図書館善本叢書和書之部編集委員会編、天理大学出版部、昭和五十年、一五一頁～一五三頁八行目）の脚本です。これを読み、次の問題に日本語で答えなさい。

- (1) 任意の翻刻凡例を示し、全文を翻刻しなさい。なお登場人物は親と子の二人である。
(2) この狂言の最後の場面のおかしみはどのようなところにあるのか、翻刻した本文に則して簡潔に説明しなさい。

問3 現代における古典芸能の意義について、任意の具体例を挙げて解答用紙15行程度の日本語で自由に論じなさい。

(2枚目/3枚中)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Catherine Rees, *Contemporary British Drama* (London: Red Globe Press, 2020), p. 30, l. 14 - p. 31, l. 16

(3枚目/3枚中)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

狂言「いろは」(天理図書館善本叢書 和書之部 第二十三卷『狂言六義』上、天理図書館善本叢書和書之部編集委員会編、天理大学出版部、昭和五十年、一五一頁～一五三頁八行目)

令和8（2026）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題

芸術学専攻（西洋美術史受験分野） 筆記試験

[問題用紙は4枚です。]

（1枚目/4枚中）

問1 以下の用語の内4つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。 [配点20点]

- | | | |
|----------------|---------------|------------|
| 1) 定朝 | 2) 源氏絵 | 3) 舍利容器 |
| 4) ウジェーヌ・ドラクロワ | 5) 《ラス・メニーナス》 | 6) メメント・モリ |

問2 問題用紙2枚目の英文を読み、全文を日本語に直しなさい。 [配点40点]

* 出典：Wilfried van Damme, "Introducing World Art Studies," in *World Art Studies: Exploring Concepts and Approaches*, ed. Kitty Zijlmans and Wilfried van Damme (Amsterdam: Valiz, 2008), p. 29, l. 35~49 & p. 30, l. 1~13.

問3 問題用紙3-4枚目にある2点の画像AとBを見て、それぞれの作品のおおよその制作時期と制作地域、またBについては制作者である画家についても所見を述べなさい。そのうえで2点の作品を比較して、その主題と様式について美術史的に重要と思うことがらを論じなさい。 [配点40点]

(2枚目4枚中)

別紙は著作権等に配慮し、省略します。

(3 枚目/4 枚中) 画像 A

別紙は著作権等に配慮し、省略します。

(4 枚目/4 枚中) 画像 B

別紙は著作権等に配慮し、省略します。